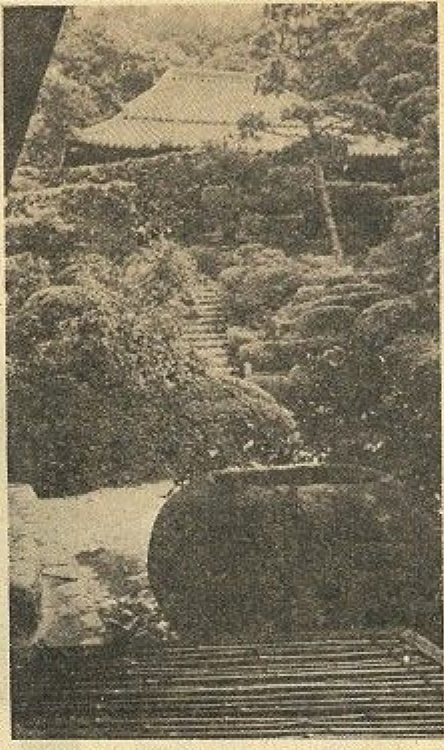
昭和34年12月26日印刷
昭和35年1月1日発行
奈良市民だより
（第63号）
発行所　奈良市役所
編集兼発行人
市民課長　大西一之
印刷所　共同印刷工業株式会社

昭和34年度
県市民税　第4期分
納期　1月15日～2月1日
固定資産税　第4期分
納期　2月15日～29日

奈良市の人口
〔昭和34年11月末調〕
世帯数　32,076世帯
人口　132,590人
（**男** 63,808　**女** 68,782）



写真：小堀遠州公の作庭といわれる法蓮佐保川西町の興福院

重要幹線街路事業と市民生活

市内南北幹線道路の完成を目指して

火事が起きても消防車が通れない。火の子は向う三軒附近一帯に振りかゝる。旧奈良市街地においてはこんな心配は勿論、狭い道に大きな自動車が止つていて、しばらく立止つて行き過ぎるのを待たなければならない。自動車はどんどん増えるのに街道は昔のまゝである。これではいくら必需品が近代化しても生活の向上は計れません。そこで本市では他都市より早く昭和24年から今の重要幹線である既成市街地を南北に貫通する幹線街路の建設に着手してきました。

現在迄に1億2千3百万円を投じて奈良坂町の国道から延長4200m、巾18mで三条通り郵便局の所まで到達、昨年から三条通りを南に入り本子守町の建物立退を実施しております。本年は郵便局も鉄筋コンクリートのスマートな局舎に改築されるでしようし、昭和39年の東京オリンピックをひかえ西木辻町循環道路まで約1000mの貫通を目ざし建設が急がれています。この街路の完工は、国際的観光都市であるわが奈良市に課せられた責務であり、さらに年間800万人にのぼる内外観光客を受入れる準備でもあり、又貴重な文化財、観光資源を広く世界に紹介するためにも、市民の生活を豊かにし、向上させ、スピード化させるためにも、更には一層充実した防火体制を確立させ、安全であり、不安のない街を作るためにも、何んとかして早く完成させなければならない事業であります。

しかし今後の1000mの街路建設には、2億数千万円の事業費と数百軒の建物の立退き移転をしなければなりませんので大変な困難が伴うわけでありますが、市としては万難を排し事業の遂行に当つておる次第であります。

全市民の公益のために御協力を切望して止みません。

現在高天町近鉄踏切付近より北を振り向きますと、コンクリートの舗装道がすつきりと白く伸び美しい街並を形成しております。

この道路が市民の足となり、そしてまた生活必需品を運び、京都一奈良から阪奈道路を経て大阪を結ぶ大動脈なのであります。

今後に推進されるこの整形手術とも云うべき南北幹線道路の完成によつて奈良市街地の顔は一段と美しく整えられていくのであります。そしてこの街路があらゆる面に於て市民の利益のため充分な効果を発揮することを皆さんと共に期待しております。

新しい年を迎え皆さんのより一層の御協力と御支援によつて、この困難な事業が一日でも早く完成することが希望されているのであります。

高天町近鉄踏切附近

市長　高椋正次

みなさん　昭和三十五年の新春おめでとうございます。

お正月は私たち一生のうちにいくたびかめぐつてまいりますが、そのたびに何かこころ新たな喜びを感じます。

それは新しいものには常に夢があり希望があるからだと思います。

これからの新しい時代に処して、私たちの生活のよりどころである郷土奈良市のために、市民のみなさんと共にさらにけんめいの努力をいたしたいと思いますので、なにとぞ本年もよろしくご支援のほどお願申上げます。

昭和34年
工業統計調査について

通商産業省では例年の通り今回も12月31日現在で工業統計調査を行つております。

調査の要領は次のとおりでありますが、幸い皆様の御協力によりまして、この調査が円滑に遂行され立派な結果を収め得られますようよろしくお願い致します。

▲**調査の要領**

◦**調査の時期**

昭和34年12月31日現在で調査をいたしますが、その実施は既に12月24日頃から始められ、来る1月14日までの間に行います。なお調査票の提出は1月20日までで、成る可く早くお願い致します。

◦**調査の対象**

一般製造卸業であります

◦**調査の方法**

県知事が任命し、県知事の発行した工業統計調査員証を所持する調査員が該当する事業所について調査票用紙をお配りいたしますから之に記入の上報告して下さい。

☆なおこの調査の内容については厳に秘密が守られ、外部にもらされたり、課税の対照にされたりするような事は禁じられておりますので念の為め御承知の上御協力をお願いいたします。

1月15日
「成人の日」に贈る

奈良市におきまして昭和35年中に満20才(成人)になられる方が約2,800名で、之等の皆さんを招いて成人式を次のとおり挙行いたしますから該当者は誘い合せ御出席下さい。

◎**昭和35年成人式**
日時　1月15日（金）
式場　奈良市庁別館
順序
受付　午前9時半～10時
式典　10時～10時40分
講演　（約40分間）「若い人々への期待」
講師　京大教授　鯵坂二夫

× × ×

◎式典終了後成人の日の自覚と喜びを記念して植樹行事が代表者によつて行われます。

市議会議長　谷井友三郎

市民のみなさん、明けましておめでとうございます。本年は皇室の御慶事と、天平の昔当奈良市に都をお移しになられてから一二五〇年に相当する意義ある年に当ります。したがつて、きたる三月十日から五日間盛大に奉祝記念行事を賑々しく挙行することになつておりますが、これを契機として、わたくしたちは祖先から継承してきた貴重な古文化財を守りこれからの新しい時代にマッチした観光都市の整備に努力いたす決心でございます。

またオリンピックの開催を間近に控え、外人観光客の九〇%までが奈良を訪れている実状をよく認識してこれが受入態勢の整備確立に微力を尽さなければならない年でございます。この意義ある新春に、わたくしは市民みなさんのご多幸をお祈り申し上げると共に世界の観光都市として恥じない奈良市発展のため、格別のご協力を賜わりますよう篤にお願い申し上げ、年頭のあいさつといたします。

市民のみなさん　ありがとう

先般15号台風によつて未曽有の災害をうけた五条市初め県下18町村の罹災者救援のため救恤金品を募集いたしましたが、市民の皆様から絶大なる御協力により、次のとおり多大の義捐金品を寄贈して頂きました。

之等の金品は早速被害地の市町村当局を通じて夫々罹災者にお配りいたしました

現金総額	212万3千円
衣料品	3011梱包及び29436点
日用品	22梱包及び334点
学用品その他	数千点
食料品	米1174瓩 その他麦、玉ねぎ、罐詰類

救援物資輸送隊の出発を見送る（市庁舎前）

成人の日を迎えられるみなさんに贈る言葉

成人の日を迎えられるみなさん！　立派に成人された皆さんが名実共に社会の一員として意義深い出発をされますことを心からお祝い致します。

皆さんは、既に御承知のように、満20才に達した日から日本国民として国会議員をはじめ各種の選挙に投票する権利をもたれます。この選挙権がいかに大切であるかは今更申上げる必要もないと思いますが、新憲法が実施されてもう十数年にもなりますが、その内容はまだまだ不完全なものと云わねばなりません。それは民主政治の最も大事な基盤と云われる選挙にあたつて、残念ながら全部の有権者がその貴重な権利を自らの自覚に基ずいて正しく行使しているとは云い切れない現状であるからです。昨春の二大選挙をふり返つてみてもおわかりのことと思います。この遺憾な現状を是正し、選挙を公明且つ適正に行うことは現在の有権者に課せられた大切な役割であります。

今、新憲法のもとに民主教育をうけられた皆さんが新らしく社会の一員として参加せられますことはまことに意義深く、あなた方に対する期待は極めて大きいのであります。

どうか、みなさん！みなさんにとつても、又社会にとつても、この意義ある年を契機として、一段と政治や選挙に関する認識を深められ、新らしく得られた国民としての権利を立派に行使し、その義務を果されますよう心からお願い致します。

昭和35年1月　　奈良市選挙管理委員会

賀正
1960年元旦
ワリショー
○利廻　年6分6厘4毛
○期間　1年
○最終払込金　9,377円（1万円に付）
○券面種類　1万円、5万円、10万円、100万円
（説明書進呈）
商工組合中央金庫奈良支店
奈良市林小路町　TEL(代)5421

賀正
くすりと化粧品の百貨店
株式会社　山田薬局
奈良市もちいどの通り
電話二一六三・七六五八番

賀正
南都銀行

謹賀新年
共同印刷工業株式会社
取締役社長　近東弘七
社員一同

—お知らせ—

昭和34年10月13日山梨県西八代郡六郷町役場が火災にかゝり、同役場に備付又は保存していた戸籍簿並に除籍簿、改製原戸籍関係書類が全部滅失しました。これを再製する必要があるので、次に該当する方は昭和35年1月末日までに同町長に対し、つぎの手続をしなければなりません。なお詳しいことは当市戸籍課へお問合せ下さい。

1、明治42年1月1日から大正3年12月31日迄の間に山梨県西八代郡岩間村長、同郡楠甫村長、同郡宮原村長、同郡落居村長、同郡鴨狩津向村長、同郡葛籠沢村長に対し又昭和34年10月1日から同月12日迄の間に山梨県西八代郡六郷町長に対し戸籍に対する届出、報告、訂正申請、若しくは請求をし、又は其他戸籍の記載を要すべき書類を提出した者はその事項を六郷町長に申し出ること°

2、昭和34年10月12日迄に第一項の町村長の受付した戸籍若しくは除籍の謄本、抄本、又は戸籍若しくは除籍に記載した事項に関する証明書の交付を受け現に所持する者はこれを六郷町長に提示すること。

消防出初式は

8日午前9時から

新しい年を迎えて、恒例の奈良市消防出初式は来る1月8日（金）午前9時から奈良公園野外音楽堂、猿沢池畔及び市庁別館をそれぞれ第一、第二、第三会場として挙行せられます。

第一会場では集合、整列、点検訓練を行い、分列行進の後、ほぼ10時30分頃には第二会場である猿沢池で一斉放水、色水放水が行われます。

奈良市民の生命と財産を火災の魔手から護る第一線消防隊員の訓練と装備について皆さんの御認識を頂き、今後一層自治体消防の向上発展に御協力下さいますようお願い致します。

一般市民の皆さまには第一、第二会場にお出向きの上何卒御声援下さいますようとくにお願いいたします。

（華々しい消防隊の活動）

たばこ

たばこは　市内で買いましょう

たばこは市内の小売人が販売いたしますと、売上の百分の十一に該当する消費税が小売人の営業所のある市に収まります。奈良市では年額約5,360万円のたばこ消費税が収納される見込みで11月末日までに既に3,208万8千円が納まりました。愛煙家の皆さん、つとめて奈良市内でたばこを買い求めて下さるようお願い致します。

初春を寿ぐ奈良の巻

正月の3ヶ日がすぎると1月15日は〝成人の日〟奈良の街では若草山焼が盛大に催されて今年の活動が始まる。この頃から二月堂を中心にそろそろあわただしく、それにしては何か心あたたかな感傷を残してすぎる。寒さは例年3月1日から14日まで行なわれる〝お水取り〟の行法期間中が頂点とされる〝水取りやこもりの僧の沓の音〟と詠まれた芭蕉の名句である沓の音が聞えなくなると円窓の付近に梅の花がちらほら咲き始め、やがて奈良の街にも春が訪ずれる。

自衛官募集受付は1月14日迄

昭和34年度第4次自衛官の募集受付は来る1月14日迄で、応募される方は市役所市民課へお越し下さい。

△募集要領

○募集人員

二等陸士	約1万名
二等海士	約1千名
二等空士	約2千名

○応募資格

(1)昭和10年3月2日から同17年3月1日までの間に生れた、即ち昭和35年3月1日現在18才以上25才未満の者

(2)日本国籍を有する男子

(3)学校教育法による中学校卒業程度の学力を有すること

(4)禁治産等自衛隊法第38条の欠格条項に該当しないこと

○試験

中学校卒業程度の学力について行う筆記試験（国語＝作文を含む＝数学、社会）及び身体検査並に口述試験

奈良市表彰式に被表彰者47名

市政有功者　2名
特別表彰者　10名
功労者　24名
善行者　11名

菊かおる去る11月3日「文化の日」に挙行された奈良市表彰式に表彰されたのは次の47名の方々でした。

これは去る昭和33年1月1日条例第1号を以て制定されました奈良市表彰条例に基くものでありまして今回は第2回目であります。なお奈良市が行う公の表彰はすべてこの条例に基いて今後行われることになっています。

被表彰者

△市政有功者（助役8年以上）	
林　梅蔵	東笹鉾町
△〃（市に対する功績顕著）	
北沢　善之	天理市
△〃（市会議員20年以上）	
岩谷　貞造	桜井市
益田　甚七	東京都
河合　甚吉	南半田西町
辻本亀太郎	油阪1丁目
池田金太郎	三条池町
高椋　正次	北半田西町
藤田嘉平次	不審ヶ辻子町
近東　義則	法蓮山添西町
中尾　嘉平	瓦町
峯本新太郎	東大路町
△功労者（教育、学芸、文化に関する）	
杉本　甚七	川之上町
竹田清太郎	東九条町
井野　一亀	八軒町
△〃（研究、考案、発明、改良に関する）	
吉川　潔	佐紀町
△〃（産業発達、観光振興に関する）	
入江　泰吉	水門町
松本　楢重	春日野町
谷井友三郎	角振町
吉川　鳥次	水門町
越智岩太郎	油阪町
△〃（10年以上民生委員其他役員）	
更科　義詮	高円町
山本　徳治	紀寺町
本庄一太郎	毘沙門町
福村ミサオ	三条池町
岩井　泰蔵	奈良阪町
江島　実蔵	南京終町
△〃（15年以上市職員、消防水防団員で特に功績顕著）	
永尾　好光	尼辻町
榧本　忠秋	紀寺東口町
小林　正章	椿井町
金星　純夫	天理市
符阪　富弥	杉ヶ中町
上田　烈夫	椿井町
扇田善治郎	川上町
△〃（その他表彰を適当とする）	
広岡卯之吉	法蓮南1丁目
アントニー、ジョアキン、グリン	登大路町
△善行者（人命救助）	
谷沢　修	今市町
稲葉　耕作	和田町
△〃（善行顕著）	
山本　高正	横井町
吉田満理子	大安寺町
鈴木　和子	小西町
兼松半次郎	朝日町
藤木　真嶺	杏町
△〃（業務に精励）	
大門キミエ	水門町
平木　マツ	二名川端町
辻中　末雄	宝来町
吉田　辨吾	法蓮南2丁目

記念写真
表彰式終了後の

民生委員児童委員

氏名	町名	氏名	町名
三橋　作平	餅飯殿	安藤　キク	西御門
中村　エイ	東寺林	高橋　富子	下御門
田中　亀吉	東向中	中井長三郎	小川
大西　又一	南市	豊沢　儀雄	西城戸
北尾岩太郎	小西	柴田　義郎	椿井
山田安治郎	勝南院	絹谷　政治	元林院
植田美三郎	紀寺新屋敷	吉本キクノ	北天満
中西政治郎	鶴福院	下津　保	鵲
山本　徳治	梅園	本庄一太郎	毘沙門
吉田　園子	幸	反田ユキノ	高円
中尾　政雄	川之上突抜南方		
堀川佐一郎	福井	好田　秀子	下高畑
玉木かな枝	本薬師	黒葛亀治郎	笠屋
吉川マサノ	草小路	福岡　二郎	西紀寺
長沢　恒二	中清水	更科　義詮	高円
長池　姫子	中天満	乾　新太郎	押上
狭川　明俊	東大寺境内	辻本信治郎	手貝
秋田清五郎	雑司東	植村健次郎	般若寺
岩井　泰蔵	奈良阪	楳生　静子	東之阪
山村　藤一	東之坂	徳岡　栄一	〃
萩原九兵衛	今在家	多田　好美	中御門

新しく選ばれた奈良市の民生委員

去る12月1日奈良市の民生委員として次のとおり209名の方が新しく任命されました。これらの人々は今後3年間、それぞれの地域を受持つて、生活相談、母子福祉相談及び身体障害者の身の上相談等にたづさわつて下さることになりました。209名の内新しくなられた方は39名で、又婦人は42名でした。

河合和一郎	今小路	上野　馨雄	川久保
松嶋　敬一	東之阪	村田忠三郎	奈良阪
西田松太郎	杉ヶ東	三田虎一郎	北京終
高村　シズ	浄言寺	岩井　弥信	北京終本
坂下由太郎	西木辻瓦	今井徳治郎	肘塚
高瀬文蓬子	西木辻	飯田　寿	京終地方西側
信吉　和男	井上	猪岡平右衛門	東木辻
森川　貞子	南新	西井　三郎	南京終
桝田　周作	脇戸	山田　とく	南魚屋中
中村　慶治	西新屋	市橋忠太郎	元興寺
稲葉　岩蔵	中辻北方	徳田楠治郎	綿
吉本治郎平	花芝	岡島　重治	北半田西
島津　宗次	北袋	川辺　菊松	西包永
辻中美侍子	高天市東	西田安太郎	芝辻北
小林房次郎	西新在家	吉見　栄子	法蓮
乾　春水	法蓮	広石　つぎ	法蓮仲
佐川　豊子	法蓮一条	大谷萬次郎	法蓮

清水　敬晨	法蓮南	岡本　利長	法蓮立花
大西徳次郎	佐保田	川崎　治孝	法華寺
福岡浄寧子	鍋屋	山口マサエ	法蓮
北田　平七	畑中	垣内　千代	油阪
裏川　富則	油阪	福村ミサオ	三条横
竹林　政明	東横枕	小林　雅次	三条東
北村　五郎	西之阪	荒木奈良一	西之阪
吉井　孝雄	油阪	恒岡　常介	油阪
山本　泰助	芝辻西	中村　鈴子	油阪
白井久之助	三条東	森本新太郎	今辻子
稲葉　淳	西之京	藤谷　道隆	尼ヶ辻
吉村　正二	五条	植村　長一	六条西
豊田　梅枝	佐紀東	中嶋　富造	佐紀
古瀬　松蔵	五条	水原ナミ江	横領
宮口賢太郎	七条	森田　リエ	佐紀
富田　丈夫	興福院	松石　甚蔵	八島
中尾　淑子	古市	西村　花枝	古市
宮岡　儀平	古市	荻田徳三郎	横井
吉田由太郎	横井	奥田　久次	鹿野園
北浦　貞治	藤原	小倉房治郎	柏木
楠下　義一	大安寺	辰巳　武雄	大安寺

桝谷　久江	大安寺	西口　譲一	八条
楠下喜代太郎	大安寺	大島谷誠一	中山
河辺才一郎	秋篠	大林　常蔵	押熊
福井　サト	山陵	岡島喜兵衛	歌姫
宮崎　操子	中山	坪井　嗣佳	東九条
東雲　茂雄	西九条	森山　嘉治	杏
中尾　豊蔵	杏	植田民之輔	西九条
林　彦治	神殿	吉田　良象	北永井
長岡増治郎	南永井	虎枝　由蔵	出屋敷
山中　正次	北之庄	吉岡　香	柴屋
中室　善継	池田	木村佳太郎	今市
辰巳専次郎	田中	坂内　伍	窪之庄
松井伊八郎	上山	浅井　清作	今市
武村常太郎	下山	山中　貞一	今市
吉田　正徳	中畑	宮本喜太郎	北椿尾
大原　良	菩提山	谷村健治郎	米谷
村田幸治郎	高樋	奥村　正一	三碓
西口　栄一	二名	紗野秀太郎	三碓
杉本ナラエ	二名	青井　藤平	中
恒川　要	大和田	松山　元一	二名
山中与太郎	中	藤本弥太郎	石木

山上　嘉雄	中	大原　瀧雄	二名
阪本貞治郎	二名	山本　仙松	三碓
橋本　幸	三碓	河井　朝子	富雄川西
大賀　正祐	学園	石井　源治	学園
渡辺　真澄	西大寺	松本庄太郎	菅原
伊吹　順道	西大寺	上村　義雄	あやめ池
板谷　好	西大寺	坪井栄太郎	西大寺
上田　鶴吉	青野	松田　源治	平松
浦島奈良熊	宝来	川野利喜蔵	疋田
山崎留次郎	あやめ池南	岸本　喜一	あやめ池
岡本ハツエ	西大寺	山口梅治郎	興ヶ原
井倉　義智	北野山	小南　喜治	邑地
大久保光蔵	柳生	新谷　一	丹生
中西　勝	大保	日下部源治	柳生下
東井　敏治	阪原	上本　正彰	大柳生
清水しのぶ	大柳生	森下　竹野	大平尾
平野多治郎	忍辱仙	扇谷秀太郎	大慈仙
中田　孝義	阪原	久保はるゑ	矢田原
辰巳　実	大野	谷脇　勇	長谷
中尾安次郎	日笠	奥畑　市造	水間
井岡　一	誓多林	仲野　英	須川
西田岩三郎	東鳴川	南　捨治郎	平清水
中西　マサ	北村	辻本きみの	須川
松原　由松	下狭川	藤沢　義雄	下狭川
中井　康治	狭川両	東田シズエ	下狭川